

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

代表校:東京農工大学 国内連携大学:茨城大学、首都大学東京

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

ASEAN発、環境に配慮した食料供給・技術革新・地域づくりを担う次世代人材養成

【プログラムの目的・養成する人材像】

農学・工学・食料科学などの分野における、開発と成長・自然と人間社会といった、アジア全体を取り巻く課題を解決する国際的な視野を持った人材

【構想の概要】

- ・ASEANの発展に貢献する人材育成コンソーシアムの構築
- ・三大学それぞれの特色を活かした、4つのコースの開設
- ・ASEANの歴史・文化、社会・経済を学ぶなど、ASEANへの理解を深める派遣プログラムの構築
- ・本プログラム終了後の大学院修士課程進学を促進する大学院ダブルディグリーコースの設置

■ 交流プログラムの質の保証

GPAの導入により、客観的な成績評価を実施しているほか、学内に単位相互認定審査委員会を設置し、厳格な成績管理の下、単位の実質化を図る。

■ 交流プログラムの内容

三大学が協働し、環境保全・経済発展における課題解決に向けた人材育成に、AIMS大学とともに取り組む



三大学の強みを生かした、課題の解決に向けた教育プログラム



派遣

協働教育による学びのスパイラル

受入

AIMS大学

- 【インドネシア】
ボゴール農科大学、ガジャマダ大学、バンドン工科大学、スリウィジャヤ大学*
- 【マレーシア】
マレーシア・プトラ大学、マレーシア工科大学
- 【タイ】
カセサート大学、キングモンクット大学トンブリ校
- 【フィリピン】 * H27年度交流開始予定
フィリピン大学*
- 【ベトナム】
ベトナム国立農業大学*
- 【ブルネイ】
ブルネイ・ダルサラーム大学*

先端環境農学・食料技術コース【東京農工大学】

・長期的な食料の安全供給を目指す先端農業技術(植物工場など先端技術に関する実験・フィールド実習・研究)

環境志向技術革新工学コース【東京農工大学】

・大都市圏での資源・エネルギーの有効利用・効率改善(高度な技術開発体験や企業文化を学ぶインターンシップ)

地域サステナビリティ学コース【茨城大学】

・持続的発展の基礎となる安全な地域づくりと環境保全(ラボワークや実践演習を組み合わせたPBL型教育)

観光地域づくりコース【首都大学東京】

・理学や工学をベースに観光を科学(フィールドワークや実証的調査に基づく体験・研究)

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H26までは実績、H27以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	12	14	3	0	0	0	9	14	7	-	-	-	12	16	9	1	2	1	15	20	11	1	2	1
学生の受入	0						35						30						41						50					

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

- **プログラムコーディネーター/留学コーディネーターの配置(派遣・受入)**
 - ・履修登録や単位認定の手続き、ビザの取得などについて手厚くサポート
- **パディ制度(AIMS学生と日本人学生の相互サポート)の構築(派遣・受入)**
 - ・授業やフィールドワーク、日常生活において、ともに学び助け合う
 - ・学生間の継続的なネットワークを構築し、留学後も交流の橋渡し役として活躍
- **一貫した日本人学生へのサポート(派遣)**
 - ・事前研修(語学、東南アジアの歴史・文化、特別授業など)から留学中の相談対応、事後学習まで、一貫した支援を実施



〈日本人学生と留学生の交流〉